

再生 短信

2022/3/26~27 里山再生活動体験同行記 第2回

循環と共生への道を歩く

場。東京からの遠隔ロボット操作に見事成功
(写真7)、しかし溝口さん「ス

論文の講義を受け、滑牧場ブドウ畑隣接の堆肥製造現場へ(写真5)。堆肥を前に内山さんの説明は説

「ス」と農業といつてもおいそれと実現できるものではない「ありません」なるほど納得。午前のワーク

ショッピング終え昼食の待つ風と土の家へ。
(文責&撮影・若林二平)



1

前号で紹介した星空鑑賞会から明けて2022年3月27日8時、総合コーダイネーター・小原壮二さんの講義に続いて里山ハイキングに出発、今日から福島大学農林サークル五名合流。最初の訪問地は「萌芽と植樹による放射能低減実験エリア」ま

域の古老・経験者中心で作り、再生の会が協働し完成した窯は3月16日夜に発



3



2



7

ずはクリ苗木四本からのスタート(写真1)。

現場は続く、屋根掛けのある炭焼き窯である(写真2)。昨年来地



4

抜けて学び舎へ(写真4)。十時、東大大学院・内山健太郎さんから「完熟堆肥製造」に関する研究

得力がある(写真6)。

ここで東大大学院溝口勝教授が草刈りロボットを連れて登



6



5